

## 一宮「本町商店街」を歩く

岐阜の玉宮通り商店街から、次に向かったのは一宮の本町商店街である。ここは前に真清田神社に行ったときに通ったことがある。立派な長いアーケードが続いた閑散とした商店街という印象であった。

再びここを訪ねたのは、織物販売店や健康サロンなどがテナント出展する複合ショップ「ほんまちプラザ」オープンという記事を読んだからだ。空き店舗を活用した商店街活性化策の一環であり、これまでで最も大きな規模という。写真のように大きな看板がかかっており、すぐにわかった。オープン当日にしては、人は少なかった。中に入ると、健康サロンで血液の検査をやりませんかと声かけられた。「健康商店街」として売り出しており、その一環と思われるが、検査は丁重にお断りした。予想・期待していたのと違っていてもあり、早々と「ほんまちプラザ」を後にして、真清田神社のほうに向かって商店街を進んだ。



ちょうど七夕祭の飾りつけが行われており、アーケードを彩っていた。一宮の七夕は有名であり、閑散としたアーケード街(本町ぶらんどーむ)も多くの人で賑わうのであろう。名古屋の円頓寺商店街のふだんの風景と七夕祭の賑わいが思い出される。それにしても空き店舗がやたらと目についた。空き店舗の前に長い椅子がおかれ、お年寄りがそこで休んでいるのが印象的であった。空き店舗対策や「健康商店街」など、いろいろな取り組みをしている本町商店街に今後とも注目していきたい。



本町商店街から一宮駅に向かうと、ほとんどシャッターがあり、落書きが一杯書かれた店舗が続いていた。玉宮通り商店街の帰りだけに、複雑な思いで足早に駅に向かった。



(2006年8月11日 記)